

低炭素社会戦略センターシンポジウム「低炭素技術を取り込んだ街づくり」

日時 平成 28 年 12 月 13 日（火）13:30～17:00

場所 伊藤謝恩ホール

閉会挨拶

山田 興一（LCS 副センター長）

皆さま、長時間 LCS シンポジウムにご参加いただき、ありがとうございました。

これから低炭素社会へ向かうにあたり、電力に限っていえば、2050 年で温室効果ガス 80%削減は、経済的負担なく実現できそうだとか、人口が減っても、AI やコンピューター等のいろいろな機器が進歩して、製造業だけでなく、サービス業にも使えば、今より 5 割ぐらいは付加価値が上がることは可能だというお話をしました。

その後、土屋先生と中井様から、医療やガス事業の観点から、低炭素という土台を離れて新しい事業につながるという話がありました。

また、最後のパネルディスカッションでは、非常に幅広い分野の方々から興味深いお話が伺え、少しは明るい気持ちになってお帰りいただけるとありがたいです。システムづくりは大事ですが、それを支える科学技術も非常に大切です。日本は、そこに少しは力が残っているので、これを絶やさないように頑張っていきたいと思います。

それに向かって LCS は、街よりもう少し大きい低炭素社会ということで取り組んでいますが、実際の街のところまでつながるよう、これからもいろいろなシナリオをつくっていきたいと思います。我々の活動は、いつもホームページにて公開しているので、今後も是非ご支援いただけたらと思います。今日は本当にありがとうございました。

以上